

女性社員訪問¹⁶ 私たちはいま

(株)善都 鈴鹿綾子さん



プロフィール 2008年4月新卒入社。総合職での採用後、3か月間の店舗研修を経て店舗に配属。数件のオープニングスタッフの経験を積み、14年に主任に昇格。大清水店主任

仲間の信頼を大切にして 人望厚い店長目指します

このオープニングが無事に終わり、大規模改装を行ったりリニューアルした上、店舗のオープニングメンバーとなりました。

——オープニングの経

女性社員育成のための諸施策

育児両立社員制度、時短勤務などの就業環境を整えることで、女性社員が働きやすい職場づくりを心がけている。また、女性社員、アルバイトが中心になって運営される女性スタッフ会議が開催され、現在は政府方針の女性管理職30%を受けての様々な体制作りなどが話し合われている。2013年に愛知県ファミリーフレンドリー企業に認定。2014年くるみん認定事業主となり、子育て中の女性社員のほぼ全員が産前・産後休業、育児休業の制度を利用している。

話し合って手づくりで

——入社のかっけは？

鈴鹿 事務職希望で入社したのが善都でした。ところが入社後の店舗研修が本当に楽しかったのでそのまま店舗での勤務を希望しました。スタッフとの関わりも、お客様との関わりも楽しくて、気がついてら続いていたという感じですね。——その後の鈴鹿さんは、どう成長されていったのでしょうか。

鈴鹿 はい、入社2年ほどで、長久手店のオープニングスタッフに選ばれて異動したのが最初です。そこは新しく立ち上げるお店で、何もない状態から始めたため、オープニングスタッフとして集められたメンバーとゼロから作りました。いろいろ話し合いながら、一つ一つを自分たちの手で作り上げていく感じが、本当に楽しかったです。

——具体的にはどんなことをしたのでしょうか。

鈴鹿 店舗全体については店長がプランしますが、女性社員は景品カウンターを中心に考えていきます。この時は、女性の先輩社員が2人いましたので、指導を受けながら学ばせていただきました。まずは、備品を集めることから始まり、賞品の選択やカウンターの

マニュアル作成、オペレーション、アルバイトスタッフの教育と、様々な事を学びましたが、どれも新鮮なことが多かった。

「オープン」の達成感

——オープニングスタッフとしてのファーストステップだったのでですね。

鈴鹿 はい、その次は各務原店で女性社員のリーダーという立場で、景品カウンターに関わるすべてを任せてもらいました。先輩に教えてもらったことを活かして、他の女性メンバーと共に試行錯誤しながら完成させました。

(株)善都

1971年11月創業。代表取締役社長 都筑善雄氏。愛知県豊田市に本社を置き、愛知県17店舗と岐阜県6店舗の合計23店舗の遊技場を運営。名古屋市北区に日本最大級となる2100台の巨艦店を持つ。「アミューズメントのNEXTを。」を企業スローガンに、街の景観に配慮しながら個性をきらめかせる店舗設計や、本格ワインセラーやフラワーショップの設置など、ZENTスタイルを実現している。女性のお客様のための女性専用休憩室や、スタッフも利用できる託児所を一部店舗に併設するなど、“誰もが楽しめる”場の提供に創造力を発揮している。

験値が蓄積されていきますね。
鈴鹿 はい、入社5年目のこの異動では、店舗唯一の女性社員だったため、カウンター周りはすべて任せられました。自由度は高いものの、ゼロからスタートするすべてをひとり、というのは正直大変でした。

——責任感がずしりときますね。

鈴鹿 準備万端でオープンを迎えたので、休みの日にもついお店に行ってしまうこともありました。また、中でもアルバイトスタッフの教育は、カウンターに入ったことがないというスタッフも多かったもので、けっこう苦労しましたね。どんなに入念に教育やりハ

ーサルをしても、オープン準備の忙しさの中では、スタッフもミスをお犯します。それをフォローし、ミス防止対策をしたり、みんなの成長を見ながら業務に邁進する毎日でした。おかげさまでオープン後はトラブルやミスもなく、大きな達成

新しいことへの挑戦や学ぶことがモチベーションにつながるという鈴鹿さん▶

感味わうことができました。中規模店舗でしたので、常連さんも多くアットホームな感じがあり楽しかったですね。

役職で仕事増えても

鈴鹿 上地店のオープンで、社員としてはすべてやりきったと感じましたので、さらに成長するために、主任昇進試験を受けることにしました。いままで受験を勧められていたのですが、自分にはまだ主任に昇進するほどの責任感はないような気がしていたためらっていました。さらに当時女性の役職者は少なかった状況で自分が務まるのかな？ という気持ちもありました。

——無事合格され、主任になっていかがですか。

鈴鹿 役職として納得できる責任感が強くなりましたし、仕事の範囲や権限が広がったことで、覚えることが多すぎて余裕がなくなり、でももう少し早く昇進しておけばよかったと後悔しました。



ZENTからのご案内

当店は女性スタッフの健康を考えた
ドル箱の取り扱いを1箱ずつとさせて頂いております。

ご理解とご協力ありがとうございます。

2008年から始まった、“女性スタッフはドル箱1箱ずつ”の啓蒙ポスター▶

——仕事内容にどんな変化がでてくるのでしょうか。

鈴鹿 データの管理や金銭管理など、業務作業が増えましたが、新しいことを覚えるのは楽しかったです。また、店長不在時は店舗の最高責任者になるので、初めてひとりで任された時はとても緊張しました。半日くらいのことですし、なにかあったら店長に電話すればいいと考えていたのですが、何事もなく無事に業務が終了してほしいと思っていました。

オンとオフの切り替え

鈴鹿 主任になって2年ほどたち仕事にも慣れてきたところですので、次のステップである店長補佐の試験に挑戦しようと思っっています。主任がわからなくても店長補佐ならすつきり答えてくれるはず、という自分の中にもあったスタッフの厳しい目線。それが刺激になって、自分が成長するきっかけに

採用方針

“いい出しっぺが好き”として
自発的に行動できる人材を採用。

なればいいなと思っていました。

——どこまで目指していくおつもりですか。

鈴鹿 長い社員時代にいろんな職務と関わってきたため、仕事上どんな相談をしてもしっかりと回答してくれる人、人望の厚い人になりたいという理想形があります。社員時代から憧れている女性副店長が、かつこよく、同じような立場になつてみたいと思いい、役職を目指しましたので、一歩でも近づきたいと思いいます。スタッフと良好な信頼関係をつくるには、オンとオフの切り替えも大事だと思っっています。仕事中は厳しいことも言いますが、プライベートでは仕事以外の相談を受けたりしているんなことを話します。

——オフモードの人間的な姿も、スタッフの方たちは見ているのでしょうか。

鈴鹿 スタッフからの信頼は、自分の強みでもあるので、これからは大切にしていきたいです。主任に昇進してからは仕事がいかに楽しくなり、もっといろんな仕事をしたいと考えていますので、将来は店長を目指しています。

(構成/佐藤聖子広報調査委員会)